

行政サービスの向上は — 証明窓口の一元化

中央公民館の建設が、懇談会で補助制度が無くなったので建設は難しいと言ったことについて
河内町長 ②国の政策変更により公民館建設や活動の補助打ち切りとなり、町単独事業では難しい。
青木教育長 ③北部地区の大規模土地区画整理に伴う人口増を見込み第2中学校建設を検討してきたが、実際、北部地区は人口増はしているが、子供の数は逆に減少している。全町で見ても減少傾向があるので、今後の推移を見守って検討したい。

行政サービスの向上は

証明窓口の一元化

D議員 行政のワンストップサービスについて ①行政の組織は、生活や産業のさまざまな要素、局面に対応した構造をもっている。行政サービスの向上をどう考えるか
河内町長 ①機構改革を通じ、証明窓口の一元化等を行い、利便性を上げるよう検討したい。なお、証明窓口以外の業務の一元化は、困難であるが、分かりやすい役割を目指したい。

D議員 ②証明窓口の一元化も重要であるが、担当課の基礎情報機器を使った集約や統一も必要ではないか
河内町長 ②まずは、機構改革により事務改善を行い、分散し

ている係を統括して事務の効率化を図りたい。それから、施設整備を伴うものを考えたい。
D議員 ③OA機器の骨組みを一を合わせて考えて欲しい。
河内町長 ④町のOA化は、各課対応になっているので、機種やシステムの不統一、職員の熟練度の格差が目立っている。まずは、職員を研修、システムの管理を行う専門課を作ってから検討したい。

大店法の改正は

商工会と対応策を検討

E議員 大規模小売店舗法について ①昭和48年制定の大規模小売店舗法は、低成長を迎えている現在、不都合が多々見受けられ、改正が取りざたされている。改正された場合、当町商業に対する影響について
河内町長 ①改正が予定されている内容は、大型店の出店の際、環境問題の対応、計画的な地域づくりとの整合性に配慮となっており、市町村は交通問題等、環境対策を慎重に検討しなければならぬことが考えられる。当町商業関係者は、大型店舗による影響を懸念しているため、商工会を中心として対応策を検討したい。

E議員 ②大野町商店街には具体的にとどのような影響があると考えられるか③出店申請の届出先が、国から市町村になると

行政の効率化は — 広域化や合併の選択

予想されるが、当町は何を重点に審査基準を定めるのか
河内町長 ②規制緩和から経営が困難になる危惧の面と、新法を利用し商店街を活性化に結びつける発展策の両方が考えられる。③交通渋滞やごみ処理、騒音などの問題を含め検討したい。
E議員 ④法改正により懸念される点はなにか
河内町長 ④当町としては、大型店の出店に伴い、税収の伸びがあるが、商店街は大変厳しい状況になると予想される。商工会が中心となり、商店街への集客等の面で新しい考え方が必要となってくるかと考える。
E議員 ⑤法改正の影響で既存商店の空洞化が予想される。空洞化防止のため、空店舗対策補助金や税率軽減などの優遇措置をとるよう国、県に働きかけてはどうか
河内町長 ⑤中小企業の保護、育成の面で検討したい。

行政の効率化は

広域化や合併の選択

E議員 地方分権における市町村合併と広域行政について ①行政の効率化などの大局的見地から市町村合併と広域行政についてどう考えるか
河内町長 ①今後、行政需要の多様化や行政課題の増加に対応するため、行財政能力の向上が求められ、広域的な視点の事業が重要

となる。市町村は、個々の努力に加え地域の実状に合わせ、広域行政や合併の選択が求められる。
E議員 ②行政の効率化や諸外国の例、少子高齢化から市町村合併が求められている。合併はメリット、デメリットを住民レベルで議論し、その後に、合併や広域行政があると考える。新潟市長と合併や広域行政の観点で対談された回数と内容について
河内町長 ②町長就任後の儀礼的あいさつと、合併問題協議会の進め方について会談した。
E議員 ③市町村を対象としたアンケート調査では、合併を想定していないのが約8割、広域連携制度のメリットが明確でないが半数近くあった。この背景には、合併に伴う行政サービスの低下や現行の広域行政の枠組みを変えてのメリットが見えないことがあると考える。新潟市長と懇話会で合併について交渉できないのか
河内町長 ③現在、新潟市は当町が提出した合併建設計画素案を検討している。建設計画の調整案が出来れば合併問題協議会で議論したい。
E議員 ④国や県は合併や広域行政の推進を行い、民間では市町村数の削減の提案を行っている。市町村もそのような意識改革が必要ではないか
河内町長 ④現状の広域化は、産業や経済、生活、文化、教育、医療の交流エリアが行政区分と大きく異なる。このような問題は、国、県で検討すべき基本的事項と思う。



税に関する中学生の標語・作文

先月号に引き続き、平成9年度「税に関する中学生の標語・作文」の作文の部入選作品を紹介いたします。

●町租税教育推進協議会入選作品

綱貫「大切な税金」

3年7組 大久保 りかさん (鳥原大明)

人間には、誰でも大切なものが一つくらいはある。たとえそれが、「家族」や「恋人」であろうと、そんなことは私にはどうでも良いことなのだが、
でも、その「家族」や「恋人」の笑顔を作っているのは誰なのだろうか？そしてまた、その笑顔を見た私達を
「幸せだなあ」と感じさせてくれる人は、一体誰なのだろうか？
今年の4月から消費税が5%になったことで私は大変腹を立てていた。いや、私だけではなく、税に関心のない人達は皆、そう思っていることだと思う。私に言わせてみれば、「子供の少ない小遣いの中から、5%の消費税を払うのは、並大抵のことじゃない」とか、
「親が税金をきちんと払っているのに、なぜその他にも、消費税というものを払わなければならないのか」などというのが本音である。

しかし、私はいつの間にか、あの憎らしい税というものを悪いようには思っていないのだからである。
私がそう思ったきっかけは祖父が入院したときだろうか。税金がなかったら、医療費が高くなり、十分な治療を受けにくくなる。病院で看護され、健康な体になり、あの祖父のこれ以上ないという程の笑顔を見ていると、私は目に見えない誰かに「ありがとう」と言っていました。
と頭を下げるには、いられないような気がする。
この他にも、私達学生にとって一番身近なものといえば、小学校や中学校だろう。私が今、こうやって作文を書いているのだから、熱心に勉強を教えてくださる先生がいて、机の上には教科書が並べてあって、というように、全て税金があるからこそなのかもしれない。そして、広い体育館があり、広いグラウンドがあつてこそ、いきいきと学校生活をおくることが出来るのだ。
このように税金は、私達のくらしと「切っても切れない関係」がある。ここで、最後に質問。
「あなたの大切な人やものは何ですか」
「えっ、私の大切なもの？それは、

やっぱり誰かの笑顔でしょうね」
佳作「税とは何か」
3年3組 風間 めぐみさん (中学通り)

「税とは何か」といきなりたずねられたらみなさんどう答えますか。まあきっと大人は知っているでしょう。大人は知っているで当然のことなんです。それじゃあ私達は知っているが、なんで考えている人いませんか。社会人になったらどうやって分かっていくのですか。大人にもなつて税のことを知らないなんて恥ずかしいので、私達にもまだ関係ないもの、こんな考えの人もいるようですね。それは違います。だって人は生まれてから死ぬまで税と共に生きてくなくてはならない宿命なんですからね。なぜかって、それではこれから少し私と一緒にみなさんの大問を聞いて見ましょう。もちろん難しい言葉は一切ぬきで...
「消費税」はみなさん知っているでしょう。最近5%になった例のやつです。これだつて立派な税です。もちろん学生はアルバイトでもしない限りお金は自分で稼げませんが、直接自分の税ではないですが、でもちゃんと買った商品の分だけ支払うんですよ。ほら、立派な納税を私達もしていきましょう。次に家の人に聞いてもらいたい。納税をしない人なんてまずいんじゃないでしょうか。大人になると消費税だけじゃなくなつて少し難しいですが、「町民税」とかも混つてきます。町民税って何と何と混つてくるのか。町民税とはその町にいてる人が払う税金のこと。何、どうして消費税とか町民税とか、いちいち払うのか。それはつまりこういうことです。例えば学校。税金が払われなかったら先生もこないし教科書もない。知つてましたか。次にお年寄りが安心できない。知つてましたか。つまり年金がもらえなくなるのです。いっか私達も老るのですよ。ゴミ収集車がこない。これも困つたものです。一生自分の家でゴミを処理するのですか。そして犯罪の取締りが行われなくなり、つまり悪い事をした人達を捕まえられるなくなります。なぜかって。公務員がいなくなるとどうなるのですか。つまり警察がいなくなるとどうなるのですか。税金と公務員は関係ないじゃないかって。いえいえ大ありです。公務員は税金でお給料をもらうんです。お金がもらえないのに働きますか。これは先生や消防員の人も同じです。
ね。だから言つたでしょう。私達と税は生きてから死ぬまで共に生きる宿命だと。税を払わないと、知らないで困るでしょう。え。なんか税って暗いイメージがあるって。それは違います。私達も正直な話、税をよく知らない私もそう思います。じゃあ言い方を変えましょう。きっと税をよく知るとどうなるでしょう。「税は一生の友達だ」ねそうでしょう。